

生徒向け

九中図書館だより

文京区立第九中学校図書館

令和3年12月 第8号

学校図書館支援員 蛭田康寿子



早いもので、今年もあとわずかとなりました。12月は一年の締めくくりとして為すべきことも多く、慌ただしい月です。

旧暦で12月のことを「師走」と言います。その由来は、「普段は落ち着いている師(教師)も、年末の忙しさに走り回る」や「師(僧侶)がお経をあげるために東西を走る」などがあるそうです。

12月を表す言葉は他にもいくつかあり、「極月」「春待月」などがあげられます。この読みと由来は・・・図書館に来て、調べてみてください！



九中図書館利用案内

開館日 月曜日 ~ 金曜日
 開館時間 昼休み 13:00 ~ 13:20
 放課後 学活終了後 ~ 16:30
 貸出冊数 通常2冊ですが・・・
 貸出期間 2週間

支援員在室曜日は

月・火・木・金
 在室時間は
 11:30 ~ 16:30
 ※行事や授業によって
 変更になることがあります

読書月間冊数を延長！

24日(金)まで3冊借りられます！

今月のオススメ本

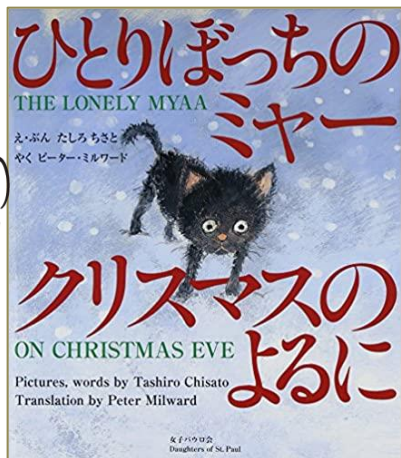


『ひとりぼっちのミャー』

クリスマスのよるに」

たしろちさと絵・文 ピーター・ミルワード訳
女子パウロ会【913 夕】

みすぼらしい子猫がクリスマスの夜にお腹を空かせて町を歩いていると……。心温まる英語併記の絵本です。



12月は 人権月間です

昭和23年12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権の尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目標ないし基準を国際的にうたった画期的なものです。採択日の12月10日は、「人権デー」と定められ、人権デーを最終日とする1週間を「人権週間」、12月は「人権月間」となっています。

九中図書館入口の今月のワゴン展示には、人権に関する本をそろえて置いてあります。本を読んでみて、人権について改めて考えてみませんか？



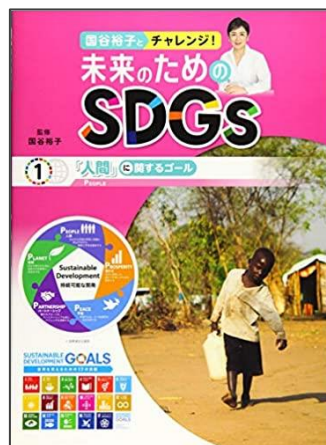
『未来って何ですか
-ぼくがいちばん撮
りたかったもの』
郡山総一郎著
新日本出版社
【36コ】
貧困に苦しむ子供達
の現実です。



『人権の絵本』
喜多明人著
大月書店【31ジ】
人権ってそもそもな
んなんだろう？生活
の中で疑問に思うこ
と等、色々考えてみ
ましょう。



『わたしは13歳、学校
に行けずに花嫁にな
る。』【36ワ】
久保田恭代他著
合同出版
「女の子だから」という理
由だけで未来を奪われる
少女達の叫びです。



『未来のための SDGs
「人間」に関するゴール』【33ク1】
国谷裕子監修
文溪堂
貧困、スラム、飢餓等、
SDGs 中の人間の問題
について考えます。



リクエスト受付中です！

『映像研には手を出すな！』(丹沢まなぶ著 小学館),『忘れていた怪談 闇の本』(緑川聖司著 ポプラ社),『マザコン刑事の事件簿』(赤川次郎著 徳間書店),『オルタネート』(加藤シゲアキ著 新潮社)→これらの本は、皆さんからのリクエストを受けて、図書館に入った本です。図書館内にリクエストボックスを設けてあるので、読みたい本があったら、ぜひリクエストカードを書いてください！あなたの読みたい本が入るかも？！